

平成21年5月1日

=地域と保護者の皆様へ=

横浜市立富士見中学校  
校長 下川 秀樹

平成21年度 5月号 富士見中 学校だより  
『小さな富士見に 大きな誇り』



風薫る5月を迎え、皆様には、お変わりなくお元気でお過ごし  
の事と思います。学校も始業式・入学式から約1ヶ月を過ぎ、授業  
参観・懇談会・PTA役員を選出等無事終わり、落ち着いた毎日を過ごしています。また、学  
級内においては、今までよく知らなかった友達の様子もだんだん分かりはじめてきた時期でも  
あります。これから1年生は三浦ふれあいの村へ校外体験学習に、2年生は金沢区にあります  
野島青少年研修センターへ宿泊体験学習に、3年生は岩手県奥州市前沢地区へ修学旅行に行き  
ますが、それぞれ実りの多い体験学習になるようにしたいと思います。

さて、この4月には、様々な行事がありました。その中で、いくつか紹介したいと思います。  
一つ目は、家庭訪問についてです。今、家庭訪問を実施している学校は、あまり多くないか  
も知れません。しかし、本校では家庭における子どもの生活の様子や保護者と学級担任とのコ  
ミュニケーション、怪我などの緊急事態が発生したときに連絡が取りにくい状況等に備えて、  
地域のどこに家があるのかということを知っておく事などは、とっても有意義であると考えて  
実施しています。4月28日を最終日に、各ご家庭のご協力のおかげで無事に終了致しました。  
帰校してきた学級担任からは話が出来てよかった等の声が上がっています。これからの学校と  
家庭との連携の為にもよろしくお願い致します。

二つ目は、眼科検診、歯科検診、内科検診、身体計測などお子さんの健康の源に関する校医  
さんの検査が終了致しました。今日は、ここ1ヶ月の保健室の様子を養護教諭の内田先生に書  
いてもらいましたので紹介致します。

#### 保健室より

新年度になって1ヶ月が経ちました。

授業も部活動も本格的に始まって、学校で過ごす時間も長くなってきました。4月の保健  
室の利用状況を見てみると、腹痛、頭痛などで来室した生徒35人、怪我をして来室した  
生徒45人（病院にいく程のケガは0人）、4月の後半は体調を崩してベッドで一時的に  
休養する人も多くいました。これからのゴールデンウィークせっかくの休日を部活動に遊  
びに大いに楽しんで欲しいですが、なかには「疲れた」「体が重くだるい」そんな訴えの  
ある人は、体をゆっくり休める時間にも利用して欲しいものです。休み明けの7日の朝に  
は、スッキリと目覚め、遅刻をしないように登校できるようご家庭でのお子様の健康観察  
をしていただきたいと思います。

保健室では、生徒一人ひとりが自分の心とからだを大切に、健康について関心を持っ  
て毎日を生活できるようにサポートしていきたいと思っています。

5月の検診予定・・・心電図検査（1年生と前年度欠席者）、耳鼻科検査（1年生と2・3年生希望者）、  
尿検査（二次検査と再提出。前回の提出率は82%全員の提出を目指しています。）

## 五月病に注意を！

5月の連休明けに頭痛や腹痛が理由で、「学校を休みたい」とお子さんがいったら要注意です。入学式や対面式、教科毎に変わる先生、新しい友達とのつきあい、部活動での先輩への気遣いなど、この5月は、ストレスのたまることが少なくありません。そして、ゴールデンウィークを過ぎて緊張感がとれた頃に5月病が発生しやすい時期です。そのようなお子さんの姿に直面したら「心に悩みがあるのかな」と思い、お子さんの話を充分聞くことに時間を割いて下さい。耳を傾けることこそ、最大の薬です。また、学級担任にも遠慮なく相談をして、早めの解決に気を配って下さい。

ロケット公園の名前で知られている千歳公園がリニューアルされました。

4月11日に記念セレモニーが行われ、本校吹奏楽部の子ども達が記念演奏を行いました。下の新聞記事は、中区のタウンニュースに掲載されたものですので紹介致します。

「ロケット公園」の愛称で親しまれている千歳公園（中区山田町）で4月11日、リニューアル記念セレモニーが地元埋地地区連合町内会の主催で開かれた。

12年前に整備された、2代目のロケット型遊具が、老朽化と新安全基準に適合しなくなったため、市が20年度事業として、3代目

同地区連合町内会会長の小島弘之さんは「公園が整備されたのは昭和32年。周囲にマンションが林立する現在では、この地区に

のほか、公園全体を再整備した。工事は3月に終了し、ほかに低年齢向けの宇宙探査船型遊具や成人向けのぶら下がり健康遊具も設置された。

市民憩いの公園がリニューアル

中区山田町「千歳公園」

てはならない公園になった」と感慨深げに話す。また、中上直区長も「一般に公園遊具は、万一の事故を危ぶんで撤去する例もあるが、私はそうは思わない。子どもたちには安全で楽しい遊具のある公園で元気に遊んでもらいたい」と同公園の再整備を祝っていた。

当日は関係者によるテーパーカットや富士見中吹奏楽部による演奏、焼き芋の無料配布なども行われ関係者、一般市民ら約100人が同公園のリニューアルを祝った。

なお、今回の事業費には、市への寄付を通じて、「ポトピア横浜」の売り上げの一部が充てられている。

高さ約6.8メートルの、市内でも有数の大きさのロケット型遊具

